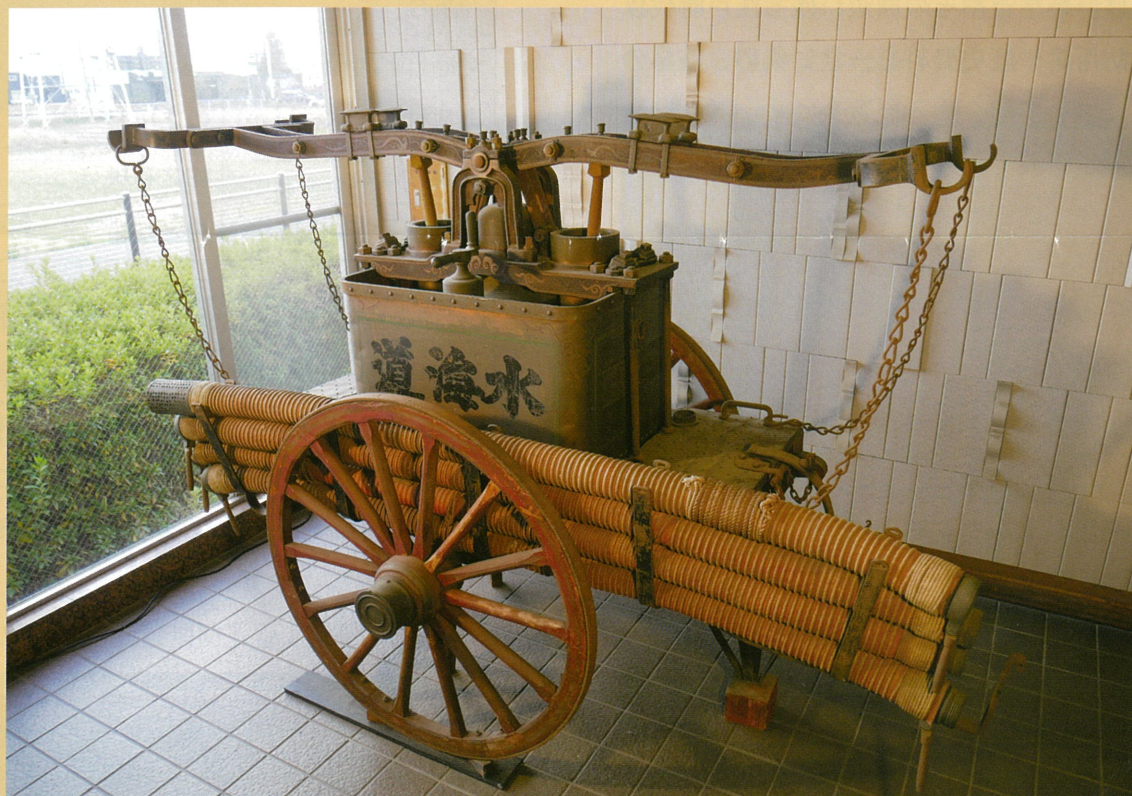




わんよう 腕用ポンプ

大正13年（1924）10月新調
岐阜市消防本部蔵

岐阜市東南部・水海道^{みずかいどう}で使用されていた消防用具です。台座に固定されたポンプを火災現場で下ろし、両端をシーソーの様に上下に動かして、その動力によって放水しました。腕用ポンプは、明治3年（1870）にイギリスから輸入され、その後、国産化が進められていきます。

当資料の製造者は、消防ポンプやホースなどの各種消防用具を製造・販売していた名古屋市中区古渡町^{ふるわたりちょう}の「横井兼吉商店^{よこいけんきちしょうてん}」（大正9年創業）です。同町には、他にも「鈴木鶴吉商店^{すずきつるきち}」・「日本唧筒会社^{そくとう}」・「名古屋唧筒株式会社」などの消防用具製造業者があり、岐阜方面にも製品を出荷していました。令和6年8月3日（土）～9月16日（月・祝）に開催する企画展「火の用心！～岐阜の消防400年のあゆみ～」では、写真の腕用ポンプのほか、瑞穂市に残る鈴木鶴吉商店製の腕用ポンプなどを展示いたします。

分館が構造補強工事のため休館しました

加藤栄三・東一記念美術館（以下分館）は、土砂災害特別警戒区域内に立地していることから、このたびお客様の安全確保を図るために、構造補強工事を実施することとし、令和6年6月17日（月）から休館いたしました。休館前はたくさんのお客様にご来館いただき、誠にありがとうございます。令和7年度のオープンを目指して工事を進めており、開館にあたっては、選りすぐりの展覧会をご用意して、皆様をお迎えする予定です。ご不便をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。

また、9月21日（土）～11月4日（月・祝）の間、本館2階特集展示室にて分館に収蔵している貴重な美術品を展示する予定です。休館中でも分館の魅力が詰まった美術品をご覧いただけるよい機会となります。普段分館に足を運んだことがない方も、この機会にぜひご観覧ください。

利用の御案内

■ **開館時間** 午前9時～午後5時
（歴史博物館の入館は午後4時30分まで）

※特別展開催中は変更することがありますのでご注意ください。

■ **休館日** 毎週月曜日と祝日の翌日、年末年始（12月28日～1月3日）
（月曜日が祝日の場合はその翌日）

※特別展・企画展開催中は変更することがありますのでご注意ください。

■ **観覧料**
高校生以上…310円（団体250円）
小中学生…150円（団体90円）

両館共通で観覧される場合

高校生以上…520円（団体410円）
小中学生…260円（団体150円）

※団体は20人以上

※特別展は、その都度料金を定めます。

※下記の方は無料でご観覧いただけますので、①②の方は証明できるものをご提示ください。（ミライロID可）

①岐阜市在住の70歳以上の方（特別展を除く）

②身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、難病に関する医療受給者証の交付を受けている方、及びその介護者1人

③家庭の日（毎月第3日曜日）に入館する中学生以下の方

④③に同伴する家族（高校生以上）の方（特別展を除く）

⑤岐阜市内の小中学生

◎原三溪記念室は、無料でご観覧いただけます。

■ 交通案内

JR 岐阜駅・名鉄岐阜駅から岐阜バスにて長良方面行きになり、「岐阜公園歴史博物館前」で下車、徒歩約5分。

岐阜公園内ロープウェー乗り場すぐ隣に加藤栄三・東一記念美術館があります。

お車でおこしの際は、岐阜公園駐車場をご利用ください。

詳しくは岐阜市歴史博物館ホームページをご覧ください。

<https://www.rekihaku.gifu.gifu.jp/>



＜原三溪記念室＞

岐阜バス茜部三田洞線 下佐波及びカラフルタウン行きになり、「下佐波」で下車、徒歩2分。

岐阜バス茜部三田洞線 もえぎの里及び高桑行きになり、「もえぎの里」で下車、徒歩すぐ。

博物館だより No.117 2024.7

編集・発行 岐阜市歴史博物館

（分館）加藤栄三・東一記念美術館

（分室）原三溪記念室

〒500-8003 岐阜市大宮町2-18-1

〒500-8003 岐阜市大宮町1-46

〒501-6121 岐阜市柳津町下佐波西1-15 もえぎの里2階

☎058(265)0010

☎058(264)6410

☎058(270)1080